令和５年度

人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算審査意見書

人吉市監査委員

人監第１５９号
令和６年１０月１８日

人吉市藍田財産区管理者
　人吉市長　松 岡 隼 人　様

人吉市監査委員　井 上 祐 太

人吉市監査委員　豊 永 貞 夫

令和５年度人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第２３３条第２項の規定により、令和５年度人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算及び付属書類の審査を行ったので、その結果について、次のとおり意見を提出する。

目　次

第１　審査の対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

第２　審査の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

第３　審査の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

第４　審査の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

第５　審査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

１　決算の総括

（１）決算収支の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

（２）歳入の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

（３）歳出の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

第６　財産に関する調書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

審査のむすび・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

令和５年度人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

第１　審査の対象

１　人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算

（１）令和５年度　人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算

２　付属資料

（１）令和５年度　人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算事項別明細書

（２）令和５年度　人吉市藍田財産区特別会計実質収支に関する調書

（３）令和５年度　人吉市藍田財産区財産に関する調書

第２　審査の期間

令和６年９月９日から令和６年９月２０日まで

第３　審査の方法

審査に付された歳入歳出決算書及びその他の書類（歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書）について、関係法令に準拠して作成されているか、財政運営は健全か、財産の管理は適正か、さらに予算が適正かつ効率的に執行されているか等に主眼をおき、関係帳簿及び証拠書類との調査照合を行い、必要に応じて関係職員の説明、参考書類の提出を求め、定期監査、例月出納検査等の結果を参考として、各計数の正確性について審査を行った。

第４　審査の結果

１　審査に付された歳入歳出決算書及びその他の書類は、関係法令に準拠した様式で作成されており、また、決算計数も関係帳簿と照合した結果正確であり、当年度における決算を適正に表示しているものと認めた。

２　令和６年５月末日における令和５年度歳計剰余金（歳入歳出差引額）は、金融機関が発行した預金残高証明書と照合した結果一致した。

第５　審査の概要

１　決算の総括

（１）決算収支の状況

（単位:円、%）

区分	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
(1)歳入総額	54,427,582	56,496,167	△ 2,068,585	△ 3.7
(2)歳出総額	42,526,694	42,889,707	△ 363,013	△ 0.8
(3)歳入歳出差引額	11,900,888	13,606,460	△ 1,705,572	△ 12.5
(4)翌年度繰越財源	0	0	0	
(5)実質収支	11,900,888	13,606,460	△ 1,705,572	△ 12.5
(6)単年度収支	△ 1,705,572	2,203,075	△ 3,908,647	△ 177.4
(7)積立金	6,033	5,009,843	△ 5,003,810	△ 99.9
(8)積立金取崩し額	2,000,000	0	2,000,000	皆増
(9)実質単年度収支	△ 3,699,539	7,212,918	△ 10,912,457	△ 151.3

当年度の決算規模は、上記のとおりで、歳入総額 54,427,582 円、歳出総額 42,526,694 円、歳入歳出差引額は 11,900,888 円となっており、前年度に比べ歳入は 2,068,585 円(3.7%)、歳出は 363,013 円（0.8%）いずれも減少している。決算収支の状況は、歳入歳出差引額（形式収支)、実質収支はいずれも 11,900,888 円となっている。

また、この額から前年度実質収支 13,606,460 円を差し引いた単年度収支は 1,705,572 円の赤字となり、さらに、この単年度収支に黒字要素の財政調整基金積立金 6,033 円を加え、赤字要素の財政調整基金繰入金 2,000,000 円を控除した実質単年度収支は 3,699,539 円の赤字となっている。

【参考】

※単年度収支の考え方
当年度の実質収支と前年度の実質収支の差であり、当該年度だけの収支を把握するための指標である。

■要点１　当年度単年度収支が黒字の場合
前年度の実質収支が黒字の場合には当該年度に新たな剰余を生じたことを意味し、赤字の場合には過去の赤字を解消したことになる。

■要点２　当年度単年度収支が赤字の場合
前年度の実質収支が黒字の場合には過去の剰余金の食いつぶしであり、赤字の場合には赤字額が増加したことを意味する。

（２）歳入の状況

（単位：円）

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
R05	54,434,000	54,427,582	54,427,582	0	0	100.0%	100.0%
R04	56,365,000	56,496,167	56,496,167	0	0	100.2%	100.0%
増減	△ 1,931,000	△ 2,068,585	△ 2,068,585	0	0		

➡収入済額は、前年度に対し、2,068,585 円（3.7%）減少している。

➡歳入の内訳は、審査資料第１表、第２表のとおりである。

➡なお、款別の内訳は以下のとおりである。

１款　県支出金

（単位：円）

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
R05	10,073,000	10,074,200	10,074,200	100.0%	100.0%
R04	9,070,000	9,069,160	9,069,160	100.0%	100.0%
増減	1,003,000	1,005,040	1,005,040		

➡収入済額は、前年度に対し 1,005,040 円（11.1%）増加している。増の要因は、森林環境保全整備事業等補助金である。

２款　財産収入

（単位：円）

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
R05	28,505,000	28,501,645	28,501,645	0	0	100.0%	100.0%
R04	23,003,000	23,053,269	23,053,269	0	0	100.2%	100.0%
増減	5,502,000	5,448,376	5,448,376	0	0		

➡収入済額は、前年度に対し 5,448,376 円（23.6%）増加している。増の主な要因は、財産売払収入のうち素材売払収入などである。

➡収入未済額はなかった。

資料

（ア）財産の貸付状況

ＮＯ	名　称	契約件数	金額（円）	備考
1	一般貸付	8	73,405	
2	企業貸付	9	733,878	ソフトバンクモバイル(株)、(株)NTTドコモ九州支社　外
3	公共貸付	3	432,946	人吉市(梅園及び駐車場)、人吉警察署
4	九州電力送配電（株）熊本支社	2	257,427	
5	九州電力送配電（株）人吉配電事業所	3	101,089	
6	西日本電信電話（株）熊本支店	1	45,450	
7	九州電力（株）人吉営業所	1	2,160	二次占用
合　計		27	1,646,355	

（イ）素材生産販売委託事業実績

委託番号	在地 字	林班	小班	樹種（林齢）	面積 (ha)	材積 (㎥)	売上金額 A	素材生産販売委託事業費 B	組合、市場手数料 C	藍田財産区有林整備事業（間伐・搬出）委託料①	森林環境保全整備事業費補助金 ②	単独継足分 ①-② D	純利益 A-B-C-D
5	宇土山 2611	21	60小班他	杉.桧 (40～68)	AB材 11.80	663.789	11,535,577	1,825,419	1,268,912	7,476,000	5,083,680	2,392,320	6,048,926
5	宇土山	21	60小班他	杉.桧 (40～68)	CD材 11.80	438.949	5,863,116	4,442,163	293,154				1,127,799
6	宇土山 2631	21	410小班他	杉.桧 (44～69)	AB材 7.96	405.853	6,702,670	1,116,095	737,292	5,043,000	3,429,240	1,613,760	3,235,523
6	宇土山	21	410小班他	杉.桧 (44～69)	CD材 7.96	203.252	2,714,872	2,056,910	135,743				522,219
合計					19.76	1,711.843	26,816,235	9,440,587	2,435,101	12,519,000	8,512,920	4,006,080	10,934,467

3款　繰入金

（単位：円）

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
R05	2,019,000	2,019,000	2,019,000	100.0%	100.0%
R04	3,014,000	2,980,565	2,980,565	98.9%	100.0%
増減	△ 995,000	△ 961,565	△ 961,565		

➡収入済額は、前年度に対し 961,565 円（32.3%）減少している。減及び増の要因は、一般会計繰入金（公有林整備事業債分）、財政調整基金繰入金である。

4款　繰越金

（単位：円）

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
R05	13,606,000	13,606,460	13,606,460	100.0%	100.0%
R04	11,403,000	11,403,385	11,403,385	100.0%	100.0%
増減	2,203,000	2,203,075	2,203,075		

➡収入済額は、前年度に対し 2,203,075 円（19.3%）増加している。

5款　諸収入

（単位：円）

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
R05	231,000	226,277	226,277	98.0%	100.0%
R04	9,875,000	9,989,788	9,989,788	101.2%	100.0%
増減	△ 9,644,000	△ 9,763,511	△ 9,763,511		

➡収入済額は、前年度に対し 9,763,511 円（97.7%）減少している。減の主な要因は、分収造林分収金等である。

（３）歳出の状況

（単位：円）

年度	予算現額	支出済額	繰越明許費	不用額	執行率 対予算
R05	54,434,000	42,526,694	0	11,907,306	78.1%
R04	56,365,000	42,889,707	0	13,475,293	76.1%
増減	△ 1,931,000	△ 363,013	0	△ 1,567,987	

➡支出済額は前年度と比べ、363,013 円（0.8%）減少している。

➡不用額は前年度と比べ、1,567,987 円（11.6%）減少している。

１款　議会費

（単位：円）

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
R05	5,486,000	5,469,093	0	16,907	99.7%
R04	4,404,000	4,074,069	0	329,931	92.5%
増減	1,082,000	1,395,024	0	△ 313,024	

➡支出済額は、前年度に対し 1,395,024 円（34.2%）増加している。

➡支出の主なものは、研修旅費及びバス借上料 1,071,990 円などである。

２款　総務費

（単位：円）

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
R05	1,877,000	1,586,202	0	290,798	84.5%
R04	6,102,000	5,283,516	0	818,484	86.6%
増減	△ 4,225,000	△ 3,697,314	0	△ 527,686	

➡支出済額は、前年度に対し 3,697,314 円（70.0%）減少している。

➡減の主な要因は、工事請負費（執務室壁板張り工事）などである。

➡不用額の主なものは、需用費（消耗品費等）123,533 円などである。

３款　財産費

（単位：円）

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
R05	31,765,000	31,319,664	0	445,336	98.6%
R04	26,313,000	25,659,351	0	653,649	97.5%
増減	5,452,000	5,660,313	0	△ 208,313	

➡支出済額は、前年度に対し 5,660,313 円（22.1%）増加している。

➡増の主な要因は、財産管理費のうち素材生産販売委託料、財産造成費のうち委託料（間伐、防護柵など）である。

資料

（ア）財産管理費の内訳

（単位：円）

区分			金額	備考
1	物件費	需用費	39,223	公用車燃料費及び管理手数料等
		役務費（手数料）	17,750	
		委託料	13,470,688	素材生産販売委託料等
		使用料及び賃借料	298,870	重機借上料
		原材料費	345,950	山ズリ等購入費
		小計（A）	14,172,481	
2	住民等への補助	負担金、補助及び交付金	688,800	藍田財産管理協力会交付金（東間小学校創立１５０周年記念事業実行委員会など）
			1,250,000	
		小計（B）	1,938,800	
3	その他	需用費（修繕料）	228,591	公用車修繕料
		役務費（保険料）	41,063	公用車損害共済金等
		公課費	32,800	公用車重量税
		小計（C）	302,454	
合　　計　（A）+（B）+（C）			16,413,735	

※藍田財産管理協力会交付金の内訳（団体運営費７件分 688,800 円、東間小学校創立１５０周年記念事業実行委員会外１件分 1,250,000 円）

（イ）財産造成費の内訳

（単位：円）

区分		金額	備考
投資的経費等	委託料（下刈）	1,516,000	森林環境保全整備事業（東大塚町字横尾）
	委託料（間伐）	12,519,000	森林環境保全整備事業（大畑町字宇土山）
	委託料（人口造林）	500,000	森林環境保全整備事業（大畑麓町字大木原）
	委託料（防護柵）	280,000	森林環境保全整備事業（大畑麓町字大木原）
	事務費（保険料）	90,929	
合　　計		14,905,929	

４款　諸支出金

（単位：円）

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
R05	4,161,000	4,151,735	0	9,265	99.8%
R04	7,882,000	7,872,771	0	9,229	99.9%
増減	△ 3,721,000	△ 3,721,036	0	36	

➡支出済額は、前年度に対し 3,721,036 円（47.3%）減少している。

➡減の主な要因は、財政調整基金積立金、繰出金調整基金積立金などである。一方、職員給与等繰出金は増となっている。

５款　予備費

（単位：円）

年度	当初・補正予算額	予備費充当額	翌年度繰越額	不用額	執行率
R05	11,227,000	82,000	0	11,145,000	
R04	11,954,000	290,000	0	11,664,000	
増減	△ 727,000	△ 208,000	0	△ 519,000	

➡予備費充当額は 82,000 円である。款別の充当額は、総務費が 82,000 円となっている。

第６　財産に関する調書

令和５年度における財産増減状況は、次のとおりである。

１　公有財産

（１）土地及び建物

①土地

（単位：㎡）

区分	Ｒ０４年度末現在高	増減	Ｒ０５年度末現在高
行政財産	0	0	0
普通財産	13,944,866	0	13,944,866
合計	13,944,866	0	13,944,866

➡当年度土地の増減はなく、当年度末現在高は 13,944,866 ㎡となっている。

②建物

（単位：㎡）

区分	Ｒ０４年度末現在高	増減	Ｒ０５年度末現在高
行政財産	0	0	0
普通財産	313	0	313
合計	313	0	313

➡当年度建物の増減はなく、当年度末現在高は 313 ㎡となっている。

（２）山林

①面積

（単位：㎡）

区分	Ｒ０４年度末現在高	増減	Ｒ０５年度末現在高
所有	10,330,552	△ 9,906	10,320,646
分収	3,328,212	13,500	3,341,712
貸付	97,402	△ 3,594	93,808
合計	13,756,166	0	13,756,166

➡山林面積の増減の内訳は、森林整備センターの分収林の面積確定による 13,500 ㎡の増、民間企業への貸付契約期間の終了により貸付が 3,594 ㎡の減、その結果、所有は 9,906 ㎡の減となった。山林面積は前年度現在高と同じ 13,756,166 ㎡となっている。

②立木推定蓄積量

（単位：㎥）

区分	Ｒ０４年度末現在高	増減	Ｒ０５年度末現在高
所有	417,046	4,889	421,935
分収	107,557	5,482	113,039
※上段が全体蓄積量、下段が財産区分	26,365	1,152	27,517
貸付	0	0	
合計	107,557 443,411	5,482 6,041	113,039 449,452

➡立木推定蓄積量の増は、所有及び分収いずれも成長量による増である。

➡②表中の分収・合計欄は、分収林の全体蓄積量を上段とし、下段に財産区分（合計欄は所有含む。）を記入した。

（３）出資による権利

（単位：千円）

区分		Ｒ０４年度末現在高	増減	Ｒ０５年度末現在高
くま中央森林組合	出資金	2,674	0	2,674

➡出資による権利の当年度末現在高に変動はなく、くま中央森林組合への出資金 2,674 千円となっている。

２　物品

（単位：台）

区分	Ｒ０４年度末現在高	増減	Ｒ０５年度末現在高
物品	1	0	1

➡物品は、「人吉市物品会計規則」第３条第２項の規定に基づき、取得価格又は取得評価額が１点５０万円以上の物品の合計額とした。

＜車両保有状況＞　（単位：台）

車種区分	Ｒ０４年度末現在高	増減	Ｒ０５年度末現在高
普通乗用車（エクストレイル）	1	0	1
合計	1	0	1

➡車両保有状況については表記のとおりである。

３　基金

（１）財政調整基金

（単位：千円）

区分	Ｒ０４年度末現在高	増減	Ｒ０５年度末現在高
預金	203,923	△ 1,994	201,929
合計	203,923	△ 1,994	201,929

（２）繰出金調整基金

（単位：千円）

区分	Ｒ０４年度末現在高	増減	Ｒ０５年度末現在高
預金	1,147	△ 19	1,128
合計	1,147	△ 19	1,128

➡基金の当年度末現在高については表記のとおりである。

審査のむすび

令和５年度の人吉市藍田財産区特別会計の決算は前述のとおりである。

１．概要

藍田財産区の山林面積は、令和５年４月現在の本市の山林面積 15,945ha の約 8.6%に当たる 1,376ha となっている。この内、経営計画面積（直営林）は 1,052.07ha で、その内訳は、人工林 795.76ha、天然林 243.85ha、竹林 2.38ha、その他 10.08ha となっている。

当年度の財産管理に関しては、素材生産販売委託事業として素材（材積 1,711.843 ㎥）を販売したほか、同様に継続事業として、区有林内の事故、盗伐防止のための区有林巡視業務委託事業が実施されている。また、藍田財産管理協力会交付金として、藍田地区の各団体連絡協議会運営費等９件の交付が行われており、その内訳は、団体運営費交付金（７団体）688,800 円、東間小学校創立 150 周年記念事業実行委員会外１件 1,250,000 円の合計 1,938,800 円（前年度 2,233,000 円）となっている。

なお、財産造成事業に関しては、当年度、経営計画に基づく間伐（大畑町字宇土山）及び下刈り（東大塚町字横尾）などに取り組んだ。

２．歳入及び歳出

次に、当年度の歳入歳出についてみると、歳入は前年度に対し 2,068,585 円（3.7%）減少している。これは、素材売払収入が 6,248,363 円（30.4%）の増、及び分収造林分収金 9,269,700 円の減が主な要因となっている。

また、歳出は、前年度に対し 363,013 円（0.8%）減少している。これは、財産区事務所の市庁舎移転に伴う執務室壁板張付工事 1,812,800 円の減が主な要因と考えられる。

３．所見

森林・林業基本法は、モントリオールプロセス等の国際的な文脈を踏まえながら、「森林の有する多面的機能の持続的な発揮」という表現で、「持続可能な森林経営」を位置付けており、森林・林業基本計画においても、林業が森林生態系の生産力に基礎を置いていること、今後の森林の整備・保全に当たって生物多様性保全の考え方を踏まえることなどが強調されている。

また、国は、森林・林業基本法及び森林・林業基本計画の理念において、木材生産だけを追求するのではなく、持続可能な森林経営の実現を基本としていることから、これからの地域の森林・林業の構想については、この点を十分に踏まえながら進めていかなければならないことはいうまでもない。

よって、今後の財産区の経営に際し、厳しい現状を再認識するとともに、経営計画を基本とするきめ細かな森林計画のもと、積極的な財産形成及び財産の有効利用はもとより健全な財政運営を損なうことのないよう、併せて、財産の管理及び処分についても、地方自治法に定められた財産区の基本原則を認識し、的確な事務処理に努められたい。また、山林関係に携わるエキスパート職員の不足を憂い、専門的知識を持った人材の確保は喫緊の課題であることを申し添えておく。

これまでの藍田財産区の歩みを振り返ると、明治４３年の藍田村誕生時の村有林を経て、昭和１７年２月１１日の市制施行時に藍田財産区を創設、以来、森林経営の益金を持って各地区の道路、架橋、水道施設、公民館、灌漑用水路、消防設備の整備、改良など多方面にわたり地域を支えてきた。特に、祝賀の１５０周年記念を迎えた明治６年開校の東間小学校をはじめ、旧藍田村の小・中学校への貢献は多大である。このことは、約８２年の間に、1,376haの面積を有す特別地方公共団体として、スギ、ヒノキ、クヌギの育成だけでなく、多くの子供たちの育成、さらには教育に寄与してきたという特筆すべき公益性を立証するもので、市の最大課題である復興の一助になるものと深く期待をするところである。

審査資料

第１表　歳入歳出決算総括表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

第２表　歳入決算年度比較表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

第３表　歳出決算年度比較表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

第４表　性質別分類比較表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

第５表　節別分類比較表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

第1表

歳入歳出決算総括表

（歳　入）

（単位：円）

区別 / 款別	当初予算額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
県支出金	10,023,000	50,000	10,073,000	10,074,200	10,074,200	0	0
財産収入	23,593,000	4,912,000	28,505,000	28,501,645	28,501,645	0	0
繰入金	9,519,000	△ 7,500,000	2,019,000	2,019,000	2,019,000	0	0
繰越金	9,000,000	4,606,000	13,606,000	13,606,460	13,606,460	0	0
諸収入	6,000	225,000	231,000	226,277	226,277	0	0
合計	52,141,000	2,293,000	54,434,000	54,427,582	54,427,582	0	0

（歳　出）

（単位：円）

区別 / 款別	当初予算額	補正予算額	予備費支出及び流用増減	予算現額	支出済額	不用額
議会費	5,934,000	△ 448,000	0	5,486,000	5,469,093	16,907
総務費	2,165,000	△ 370,000	82,000	1,877,000	1,586,202	290,798
財産費	29,836,000	1,929,000	0	31,765,000	31,319,664	445,336
諸支出金	8,579,000	△ 4,418,000	0	4,161,000	4,151,735	9,265
予備費	5,627,000	5,600,000	△ 82,000	11,145,000	0	11,145,000
合計	52,141,000	2,293,000	0	54,434,000	42,526,694	11,907,306

第２表

歳　入　決　算　年　度　比　較　表

（単位：円・％）

区分／款別	年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額に対する増減	予算現額対収入済額比	調定額対収入済額比	収入済額 構成比率	収入済額 前年度対比
県支出金	R03	10,853,000	11,580,400	11,580,400	0	0	727,400	106.7	100.0	23.0	117.8
	R04	9,070,000	9,069,160	9,069,160	0	0	△ 840	100.0	100.0	16.0	△ 21.7
	R05	10,073,000	10,074,200	10,074,200	0	0	1,200	100.0	100.0	18.5	11.1
財産収入	R03	17,449,000	17,436,480	17,436,480	0	0	△ 12,520	99.9	100.0	34.7	19.8
	R04	23,003,000	23,053,269	23,053,269	0	0	50,269	100.2	100.0	40.8	32.2
	R05	28,505,000	28,501,645	28,501,645	0	0	△ 3,355	100.0	100.0	52.4	23.6
繰入金	R03	10,002,000	10,000,000	10,000,000	0	0	△ 2,000	100.0	100.0	19.9	209.1
	R04	3,014,000	2,980,565	2,980,565	0	0	△ 33,435	98.9	100.0	5.3	△ 70.2
	R05	2,019,000	2,019,000	2,019,000	0	0	0	100.0	100.0	3.7	△ 32.3
繰越金	R03	9,471,000	9,471,447	9,471,447	0	0	447	100.0	100.0	18.9	4.6
	R04	11,403,000	11,403,385	11,403,385	0	0	385	100.0	100.0	20.2	20.4
	R05	13,606,000	13,606,460	13,606,460	0	0	460	100.0	100.0	25.0	19.3
諸収入	R03	1,472,000	1,750,298	1,750,298	0	0	278,298	118.9	100.0	3.5	△ 82.2
	R04	9,875,000	9,989,788	9,989,788	0	0	114,788	101.2	100.0	17.7	470.7
	R05	231,000	226,277	226,277	0	0	△ 4,723	98.0	100.0	0.4	△ 97.7
合計	R03	49,247,000	50,238,625	50,238,625	0	0	991,625	102.0	100.0	100.0	19.7
	R04	56,365,000	56,496,167	56,496,167	0	0	131,167	100.2	100.0	100.0	12.5
	R05	54,434,000	54,427,582	54,427,582	0	0	△ 6,418	100.0	100.0	100.0	△ 3.7

第３表

歳 出 決 算 年 度 比 較 表

（単位：円・％）

区分 / 款別	年度	予算現額		支出済額		不用額			執行率	前年度対比
		金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	予算現額対比		
議会費	R03	4,093,000	8.3	4,040,945	10.4	52,055	0.5	1.3	98.7	△ 0.4
	R04	4,404,000	7.8	4,074,069	9.5	329,931	2.4	7.5	92.5	0.8
	R05	5,486,000	10.1	5,469,093	12.9	16,907	0.1	0.3	99.7	34.2
総務費	R03	4,185,000	8.5	3,602,110	9.3	582,890	5.6	13.9	86.1	17.0
	R04	6,102,000	10.8	5,283,516	12.3	818,484	6.1	13.4	86.6	46.7
	R05	1,877,000	3.4	1,586,202	3.7	290,798	2.5	15.5	84.5	△ 70.0
財産費	R03	29,467,000	59.9	29,248,552	75.3	218,448	2.1	0.7	99.3	54.3
	R04	26,313,000	46.7	25,659,351	59.8	653,649	4.9	2.5	97.5	△ 12.3
	R05	31,765,000	58.4	31,319,664	73.6	445,336	3.7	1.4	98.6	22.1
諸支出金	R03	1,978,000	4.0	1,943,633	5.0	34,367	0.3	1.7	98.3	△ 69.7
	R04	7,882,000	14.0	7,872,771	18.4	9,229	0.1	0.1	99.9	305.1
	R05	4,161,000	7.6	4,151,735	9.8	9,265	0.1	0.2	99.8	△ 47.3
予備費	R03	9,524,000	19.3			9,524,000	91.5	100.0		
	R04	11,664,000	20.7			11,664,000	86.5	100.0		
	R05	11,145,000	20.5			11,145,000	93.6	100.0		
合計	R03	49,247,000	100.0	38,835,240	100.0	10,411,760	100.0	21.1	78.9	19.5
	R04	56,365,000	100.0	42,889,707	100.0	13,475,293	100.0	23.9	76.1	10.4
	R05	54,434,000	100.0	42,526,694	100.0	11,907,306	100.0	21.9	78.1	△ 0.8

第４表

性　質　別　分　類　比　較　表

（単位：円・％）

区分／年度別／性質別	決算額			構成比率			すう勢指数			前年度との増減	
	R05	R04	R03	R05	R04	R03	R05	R04	R03	金額	増減率
人件費	4,122,226	6,009,974	6,292,136	9.7	14.0	16.2	65.5	95.5	100.0	△ 1,887,748	△ 31.4
物件費	16,742,633	11,490,959	9,304,997	39.4	26.8	24.0	179.9	123.5	100.0	5,251,674	45.7
投資的経費	14,815,000	15,164,200	19,506,520	34.8	35.4	50.2	75.9	77.7	100.0	△ 349,200	△ 2.3
繰出金	4,145,680	1,862,925	1,933,482	9.7	4.3	5.0	214.4	96.4	100.0	2,282,755	122.5
補助費等	2,080,400	2,351,803	1,787,954	4.9	5.5	4.6	116.4	131.5	100.0	△ 271,403	△ 11.5
その他の経費	620,755	6,009,846	10,151	1.5	14.0	0.0	6,115.2	59,204.5	100.0	△ 5,389,091	△ 89.7
合計	42,526,694	42,889,707	38,835,240	100.0	100.0	100.0	109.5	110.4	100.0	△ 363,013	△ 0.8

第５表

節 別 分 類 比 較 表

（単位：円・％）

節別	区分	令和５年度 予算現額	令和５年度 決算額（イ）	令和５年度 構成比率	令和５年度 不用額	令和４年度 決算額（ロ）	令和４年度 構成比率	令和３年度 決算額	令和３年度 構成比率	増減 決算額（イ）－（ロ）	増減 前年度対比
1	報酬	4,057,000	4,056,064	9.5	936	5,241,034	12.2	5,422,992	14.0	△ 1,184,970	△ 22.6
2	給料	1,000	0	—	1,000	0	—	0	—	0	—
3	職員手当等	98,000	64,872	0.2	33,128	499,391	1.2	610,616	1.6	△ 434,519	△ 87.0
4	共済費	3,000	1,290	0.0	1,710	269,549	0.6	258,528	0.7	△ 268,259	△ 99.5
8	旅費	827,000	815,800	1.9	11,200	302,680	0.7	24,000	0.1	513,120	169.5
9	交際費	17,000	7,992	0.0	9,008	9,174	0.0	0	—	△ 1,182	△ 12.9
10	需用費	1,159,000	918,744	2.2	240,256	816,599	1.9	827,390	2.1	102,145	12.5
11	役務費	590,000	298,139	0.7	291,861	427,238	1.0	402,143	1.0	△ 129,099	△ 30.2
12	委託料	28,342,000	28,285,688	66.5	56,312	22,576,807	52.7	24,508,244	63.1	5,708,881	25.3
13	使用料及び賃借料	832,000	791,620	1.9	40,380	271,500	0.7	295,724	0.7	520,120	191.6
14	工事請負費	1,000	0	—	1,000	1,812,800	4.2	0	—	△ 1,812,800	皆減
15	原材料費	351,000	345,950	0.8	5,050	360,426	0.9	345,950	0.9	△ 14,476	△ 4.0
16	公有財産購入費	1,000	0	—	1,000	0	—	0	—	0	—
17	備品購入費	231,000	227,300	0.5	3,700	188,438	0.4	0	—	38,862	20.6
18	負担金補助及び交付金	2,003,000	1,946,800	4.6	56,200	2,241,300	5.2	3,812,120	9.8	△ 294,500	△ 13.1
23	投資及び出資金	1,000	0	—	1,000	0	—	0	—	0	—
24	積立金	11,000	6,055	0.0	4,945	6,009,846	14.0	10,151	0.0	△ 6,003,791	△ 99.9
26	公課費	615,000	614,700	1.4	300	0	—	383,900	1.0	614,700	皆増
27	繰出金	4,149,000	4,145,680	9.8	3,320	1,862,925	4.3	1,933,482	5.0	2,282,755	122.5
28	予備費	11,145,000	0	—	11,145,000	0	—	0	—	0	—
合計		54,434,000	42,526,694	100.0	11,907,306	42,889,707	100.0	38,835,240	100.0	△ 363,013	△ 0.8

